



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Mar. 1983

I-6

THEME (1982~'83)

- I.P. OPPORTUNITIES
 THROUGH PARTNERSHIP
 R.D. GOOD WORK
 WITH GOOD HEARTS
 D.G. 全員参加でワイズにパワーを/
 メネットも共に
 P. ONWARD CENTENNIAL

3月例会プログラム

と き 3月16日(水) 18:30~20:30

と ころ YMCA国際・社会奉仕センター

司会 上月 英子姉

1. 開 会 山中会長
2. ワイズソング 同
3. ゲスト紹介 山中会長
4. 食前感謝 — 晩さん —
5. 2月役員会報告 山中会長
6. スピーチ「海外旅行のノウハウ」 堀 利満君
7. 3分間スピーチ — 当日指名 — メン・メネット
8. 誕生日のお祝い 山中会長
9. ニコニコアワー 黒田 巖之君
10. 委員長報告・YMCAニュース
11. 閉 会 山中会長

▼例会当番は5班(上月・鈴木・中村・堀・森・横山)

▼3月メネット会 — 伊藤ハム料理教室 —

3月26日(土) 午後、阪急西宮北口集合

詳細は別途ご案内しますが、メン・メネット・コメット
 お揃いの参加で、楽しい一刻にしたいものです。

◇誕生日おめでとう

- 阪田 三枝 メネット 3月1日
 森田 一美 メネット 3月4日
 藤本 史郎 君 1941年3月14日
 三浦恵理子 メネット 3月14日
 谷川有美子 メネット 3月17日
 鈴木 謙介 君 1912年3月26日

◇結婚記念日おめでとう

- 瀬戸孝太郎・慶子夫妻 3月16日
 山田 孝彦・道子夫妻 3月27日

"The Narrow and Wide Gates"

Enter through the narrow gate. For wide is the gate and broad is the road that leads to destruction, and many enter through it. But small is the gate and narrow the road that leads to life, and only a few find it.

狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々としていて、そこから入る者が多いのだ。しかし、生命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。

(マタイオスによる福音 7章13~14節)

新メンバー紹介

西出 宏 君 1956年4月12日生

Nishide Hiroshi

〒666-02 兵庫県川辺郡猪名川町伏見台2-1-87

0727-66-1736

オリエント・リース株式会社 06-204-3922

〒541 大阪市東区高麗橋5-50

2月例会 出席者 (在籍会員 37名)

	第1例会	第2例会	Make-up	集 計
メ ン	25名	14名	1名	26名
出席率	67.57%			70.27%
メネット	2名	1名		
ヴィジター	1名			
合 計	28名	15名		

○ヴィジター 森田好子メネット(千里)

○メネット 中村メネット・森田メネット

◆ニコニコ 25,900円(累計90,180円)

◆B F 切手 13,039(累計16,379)ポイント

現金 70,000 ポイント

◆C S TOF 36,000円

お年玉切手 194枚

上月、河野、黒田、柴田、鈴木、谷川、中村、藤本
 松本、森、森田、山田、山中、山村、横山各君提供

今月の聖句によせて

黒田 巖之

アリサとジェロームのさわやかなプラドニックラブを画いた、アンドレジイドの「窄き門」は、この聖句から来ているわけであるが、一般に、イージーゴーイングな生き方には進歩も向上もない。反対に、狭い門とされる努力・克己・勉勵により栄冠が得られる。さらにこれをもっと深い意味にとらえれば、キリストによって示された信仰(生命)に通じる門は、狭く、これを見いだす者は少ないと書かれていることは、人生の本当の奥義を見出すことが如何にむづかしいかを示すものであろう。



初づくしの2月例会

わがセンテニアルクラブにとって初めてのT.O.F.例会が持たれた。文字どおり食事を断って、飢えた人達のために祈り、その苦しみに思いを寄せつゝ会が進められた。昨年11月例会で今村一之氏(土佐堀クラブ)よりその意義について学んでいるが、あらためてCS委員松本君より発表を行い認識を深めた。今一つの初めでは、新メンバー西出宏君の入会式であった。山中会長にとっても司式は初体験、長老鈴木書記の介添もあり、キャンドルサービス方式にて厳肅のうちに入会宣誓が行われた。

会長以下次期の各役員を選任について、82年度は足間なしで十分な活躍ができなかったこともあり、全員が再任する提案がされ満場異議なく承認された。

昨年バンコクで開かれた東南アジア5ヶ国YMCA合同会議に参加された田中稔二君から、肌で感じた隣人諸国の対日感情や役割期待についての報告を傾聴した。

さて、ニコニコアワーでは、黒田ドライバーの発案で、ひとことのコメントを書き添える「ニコニコ袋」が配布され、効果てきめん25,900円と平月としては最高額が寄せられた。「西出君入会に感謝」「長女成人の記念」「娘が修学旅行から無事帰宅の感謝」「仕事が忙しく昼食を抜きました。夕食も断たれてしみじみT.O.F.の意義を噛みしめました」など楽しいコメントがあり笑いの裡に閉会した。

—— YMCA ニュース ——

▽星野富弘「花の詩画展」(2月17日～22日、於 難波高島屋)は各方面に呼びかけてお世話役をお願いしましたところ、早速にセンテニアルのメネットの方々(2月19日)にご奉仕いただき誠に感謝です。おかげで大きな関心と反響を呼び4万8千人の入場者が記録されました。ご協力に厚くお礼申し上げます。

メネットコーナー

● メネットの集いが2月5日(旧正月)から5時30分まで、鈴木ワイズ宅をお借りして開かれました。

参加者は黒田、柴田、鈴木、田中、長安、安福、山田、山中、横山、中村メネットの10名。

内容は(1)出来得れば月毎にメネットが集い親睦を深める旨の確認。(2)メネット会の方法、内容についての希望や意見は次の集いに提出すること。(3)メネット会会長にはセンテニアル会長のメネットが自動的に就任すること(動向が把握できメネット会もスムーズに運営できる)(4)センテニアルビーズブローチの作成。(5)メネット会の連絡網の作成準備。(6)長安メネットによる着物着付け講習そのI。(7)鈴木メネット指導のもとで料理実習。(8)その他。有意義で楽しいひとときでした。

次回のメネット会では長安メネットの御好意により着物着付け講習そのIIが織り込まれます。個人別に補正の仕方等も指導して下さる予定。和服をお召しになっての出席も歓迎します。

● 星野富弘「花の詩画展」のボランティアに関して

2月17日から22日まで高島屋デパートで催されました。センテニアルは19日(土)の9時40分～6時までの都合の良い時間を黒田、柴田、藤井、山田、山中、山村、中村メネットがお手伝いしました。

土曜日の為もあって会場は人々で狭くなる程の盛況でした。何度も繰返し放映される30分間のビデオは星野富弘さんの事故のこと、家族、奥さん、回りの優しい人達とのふれあい、花との出会い、描いている様子等が多角的に映し出されていて、親しみながら理解でき効果的でした。観終って涙している方や、お便りコーナーで長い間書き続けている人など幾人もいらっしゃいました。会場は星野さんに感動した人、また絵や詩に励まされた人々の熱気で、いっこうにゆるまない二月の外の寒さを忘れた程でした。

私は傷を持っている でも その傷のところから
あなたのやさしさがしみてくる

星野富弘「風の旅」より

● ブリテンについて

ブリテンを知らないメネット、また時々しか読まないというメネットもいます。宛名がメン宛のせいか密かに見ているメン、会社まで大切に持って行ってしまっそのままのメン。そのような苦境の中でもメネットも積極的にブリテンを読むように努力しましょう。どうぞこの号からメン・メネットでブリテンをファミリーでブリテンを!

● 3月26日(土)の「伊藤ハム料理教室」にはメン・メネット揃って参加しましょう。

● 関西合同メネット会は4月10日(日)、和歌山紀の国会館で開催されます。コメントと共に是非ご参加を!

(中村幸枝 記)

〈 鋭視野・ASIA 〉

イバン・サラワクの人たちとの交流

「ニロップ」というティータイムに酒をすすめてくれる。「マカイマカイ(食べなさい)とおやつをすすめてくれる。彼らのもてなしには限りがない。仕事の合い間にヤシの実のジュースを飲んだり、ひたいに汗しながらのちょっとした会話。彼らと一緒に働いたすばらしいある瞬間は生涯忘れることができない想出だ」これは第1回サラワク・キャンプ参加者の感想である。

このキャンプは当時日本キリスト教団教師で中央YMCAの少年活動委員であった荒川純太郎氏が東マレーシア、サラワク・イバン・メソジスト教会に派遣されたのがきっかけで、大阪YMCAは同氏の活動の足となる車の贈呈(同氏帰国後はサラワク・シブYMCAに寄贈)と共に教会堂建設、道路補修のため1979年12月にワーク・キャンパーを送り出したのはじまる。今回第3回目のワーク・キャンパーを送り出すが(3月9日～22日)キャンパーたちはこれまでと異なり全員大阪YMCAの諸活動で奉仕を続けている大学生のボランティアリーダーで、現地の人々と共に生きる体験をもつと共に、帰国後その経験を他のリーダー達とわかち合って、国際理解に役立てようとするところからねらいがある。そして往復旅費を協会の費から援助することになっている。ご承知のように協会の費は大阪YMCAの社会奉仕・国際奉仕のために使われるが、これは全体プロジェクトの最初の計画である。

目下、参加者たちは荒川団長を中心に一泊研修を含めて数回の会合を通じて、一人一人の役割と課題を明確にしながら準備を進めているが、この体験が彼等の人間的成長につながるようねがっている。

2月第2例会の記録 2月23日(水)

1. 「伊藤ハム料理教室」は3月26日(土)午後。集合の時間・場所はブリテン同封で案内通知する。
2. クラブ慶弔内規。対象は本人のみとし、慶弔金1万円病氣見舞金(1ヶ月以上入院)5千円とする。
3. 役員、委員は次期も留任と決ったので、この際全員が何かを担当するよう見直しをした。名簿は後日配布する。
4. 中西部EMC充実委員会、3月5日(出)堺YMCA。IBCシンポジウム、4月17日(日)サウスYMCA。いずれも担当委員が出席すること。
5. BF切手。やはり委員だけでは処理しきれない。今後は各自がはがしてから提出。委員は分類整理のみとする。はがし方の解説書を作成し配布する。現在までの提供者大野、川越、黒田、上月、河野、鈴木、田中、谷川、中野、長安、藤本、松本、皆本、森、山田、山中、山村
6. 4月例会には少しリラックスした話題にし、ゲストスピーカーを招く方向で企画委員会が検討する。
7. ハワイ・ヌアヌワイズからのBC申し入れをお受けすることにし、IBC委員会で詳細をつめる。

"LEADERS ARE SERVANTS"

谷川 寛

ワイズの機関誌"LEADERS IN ACTION"にデンマークの元区理事エイギル・アンデルセン氏の計報が載っていた。悲しいニュースだ。この記事で「亡くなったアンデルセン氏こそ、典型的な"LEADERS ARE SERVANTS"(ワイズのリーダーこそ従者)であることを実践した人であった」という言葉が目にとまった。

この記事は現国際会長のM・ラーソン氏が書いたもので記事はさらに次のように続く。「1982年8月14日、世界のワイズは偉大なワイズの従者、奉仕者を失った。エイギルは活動的ワイズメンであった。最近ワイズメンズ・ワールド(別のワイズ機関誌)の編集者を務めた。また、ヨーロッパ地区の国際議員をし、バレンタイン賞も受賞した。彼は地元のカルデボルグワイズの主催する"のみの市"(古物市を開催しその寄金をYM・ワイズに使う)でいつも古着を選り分ける作業に、何時間も何時間も自ら率先して従事した。これは"ワイズのリーダーこそ、ワイズ・YMの従者、即ち奉仕者である"ことを自ら示したものである。」以上のように、国際会長は書いておられる。

私達のワイズ活動は、リーダーこそ率先してワイズの、そしてYMCAの従者であり、奉仕者であることを求められるユニークな活動団体だと思う。

西部・中西部・北西部合同EMCシンポジウム

2月20日(日)京都YMCAにて標記シンポジウムが行われ118名が集い、当クラブから谷川、森、山田の3名が参加した。

「今こそ自信と行動を—ワイズメンとしての自分を見直そう」とのサブタイトルに示されたごとく、ワイズとの関わりの中で自分の意味は何かを考え、自己革新・自己研鑽する、それがEMCの原動力となるということを印象づけられた。すでに成熟期に入ったクラブでは、メンバー間の年令や意識のギャップなどクラブ運営上の種々の問題を抱え、悩み、考えながら前進していることが、グループ討議の発言からうかがわれた。わがクラブはまだ生れたばかりの赤ん坊、手に触れるもの、目に入るものすべて新鮮な驚きと好奇心の連続で、悩んだりするゆとりもないというのが現状。新しいクラブ作りにメンバー全員が目を輝やかせている今の気持を失わないようにしたいもの。

(山田 記)

中西部IBC委員会

篠田中西部長・大岡中西部IBC主査が中心となって、2月21日(月)IBC委員会が開かれ、各クラブより20名の出席があった。センチニアルからは谷川、河野、中野の3名が参加した。各クラブからブラザークラブの現況報告の後、今後の活性化をどう図るかが討議された。

中西部としてメンバーにIBCの理解を促進するため、4月17日(日)午後 中西部IBCシンポジウムを開くことが決った。大阪サウスYMCAか、西九条YMCAのどちらかになる予定。

(谷川寛 記)

My Private Life (12)

田中 穰 二君

A 1. 「マイ・ファミリー」

中学3年の長女美果と小学校5年の長男信裕の子供がおります。長女は「たからづか」に、長男は仏像に興味をもっています。

A 2. 「マイ・ホビー」

昔からあれこれと趣味の多い方ですがどれも中途半端に終わっております。最近は一時的に中断していた「洋らん」をやっています。盆栽とはちがわずぼら向きですが、石油代の節約に苦労します。

A 3. 「マイ・タレント」

特に申し上げるようなものはありません。

A 4. 「マイ・コレクション」

古陶磁、古民芸をぼつぼつ

A 5. 「マイ・ワイズダム」

新しい方々とお近づきになれるのは私の仕事の上にも大いに役立ち感謝です。

A 6. 「メネットからの証言」

家内に話すのを忘れました。すみません。

My Private Life (13)

谷川 寛 君

A 1. 「マイ・ファミリー」

子供は男が2人。高1と中3。

A 2. 「マイ・ホビー」

ホビーとして自慢してPRできるものがなく残念です。

A 3. 「マイ・タレント」

あまりタレント性はなくお得意の技はありません。

強いて挙げれば車の運転ぐらい。週末一回は運転して、郊外に出ると気分もすっきりします。資格らしいものはありませんが、学生の時取得した通訳ガイド案内業の資格があります。リタイアしたら京都あたりの海外客相手の観光ガイドぐらいに使えるかもしれません。

A 4. 「マイ・コレクション」

金と時間がないため自慢できるほどのコレクションではありませんが、世界の国及び都市(特に西欧諸国、中南米)にはその場所の特徴を表したスベニア・スプーンがあります。訪問した国及び都市の記念スプーンの上等なものを集めて来たら150以上になりました。一部を家の壁に掛けてあります。最近は上等なものを入手することが難しくなりました。

A 5. 「マイ・ワイズダム」

ワイズ歴はかなり長くなりました。知らず知らずのうちにワイキチになってしまったようです。もっとも私よりもっとクレイジーな人がたくさんいますが……。仕事を離れて志を同じくする外国の友と語り、彼ら外国のワイズ宅にホームステイし、また彼らを日本でホストする楽しみはワイズならではです。

A 6. 「メネットからの証言」

疲れて帰って来ても、ワイズのことになると主人は不思議にシャンとして、タイプを打っています。ワイズも麻雀に似ているかも知れません。私も知らず知らずに感染しているようです。

My Private Life (14)

中川 徹太郎 君

A 1. 「マイ・ファミリー」

31年間、独身をさせていただいております。従いまして子も孫もおりません。母や妹は少し離れた所に別居しておりますので、全くのひとり暮らしです。でも時折、鳩がペランダに訪れてくれます。

A 2. 「マイ・ホビー」

ひと月に一度程、信楽へ陶作に行くのが一番の楽しみです。また茶の湯やお花に親しみ、心を静めております。偏食にならないよう、また健康維持の為に朝夕の食事を作ることも楽しみです。(でもこれはホビーとは言えないかもしれませんね。)

A 3. 「マイ・タレント」

誰でもそうでしょうが、特に私の場合は、どんな所ででも熟睡できます。また、当クラブの誰よりも一度に沢山食べることができます。(高尚な得意技を持ち合わせておらず、すみません。)

A 4. 「マイ・コレクション」

ネパールのミリアムさんという人が作られた毛糸のメントは、心に残る思い出と共に大切にしています。

A 5. 「マイ・ワイズダム」

私の家のひとつの窓のような気がします。ワイズというひとつの窓から違った社会、違った世界を見ることができるようになって、少し世界が広がったような気がします。

色々な人達との思わぬ出会いに喜びを感じますし、また諸先輩の方々の若々しさに自分の将来を見るような思いがして、年を取ることすら嬉しく思えるようになりました。

A 6. 「まだ見ぬメネットからの証言」

気が小さいようですけど、一度何かを決心すると実行力があり、大変男らしい人だと尊敬しています。男のくせに少し口数が多いようです。でも、いつも私に寂しい思いをさせまいとしてくださっているのですよね、ありがとう!!アナタ!! いつまでもお元気でいらしてくださいねアナタ!!

— 今年の日本区大会は広島です —

1983年6月4日(土)5日(日)に開催されます。
まだ登録されていない方は、なるべく早く……

登録費は メ ン 27,000円
 メ ネ ット 23,000円

みんな手をつなごう

— 来てみんさい 緑と川の広島へ —

• 東京多摩ワイズメンズクラブ・チャーターナイト

日・時 1983年3月6日 13:00~17:30

場 所 賀屋登会館(立川市富士見町4-15-14)

TEL 0425-24-2250

登録費 メン・メネット 8,000円 コメント無料

記念講演 「中東と日本」(成蹊大学 牟田口義郎先生)